

町内合唱団と京大交響楽団による河村光陽作曲「かもめの水兵さん」の共演。



## 福智の歌声、京大交響楽団と夢の共演。

福智町文化連盟設立記念  
京都大学交響楽団演奏会

福

福智町文化連盟の設立を記念した「京都大学交響楽団演奏会」が、8月10日に地域交流センターで開催されました。ボランティアで地方公演をしている京都大学交響楽団の活動に教育委員会が応募し、多数の中から抽選で選ばれて実現した演奏会です。

3部構成の内容で演奏され、交響曲や組曲をはじめ、映画音楽や子どもたちに人気の曲など幅広い楽曲が披露されました。第2部では、文化連盟の町内合唱団とのステージが実現し、福智町出身の童謡作曲家・河村光陽の代表曲を共演。「かもめの水兵さん」「うれしいひなまつり」「グッドバイ」の3曲が、まちの歌声とともに会場に響きました。指揮者体験やユーモラスな楽器紹介などの時間もあり、鑑賞した約300人の来場者は、本格的なクラシックの世界とフルオーケストラによる大迫力の音楽の魅力に引き込まれた様子でした



京大楽団の迫力の演奏。ラストはフルオーケストラによるバレエ組曲「白鳥の湖」が会場に響く。

### 町長日誌

8月13日午後5時47分、皆川ヨ子さんは静かに息を引き取った。7月初めに、ギネスブック

の長寿世界一認定証をお届けした時、いつもに比べて精彩がなく、気になっていた。その反面、皆川さんならきつと元気をとり戻し、再びあの笑顔で、周囲の人達を包み込んでいただけると信じていた気持ちもあつた。でも、死という現実に向面してみると、改めて、114歳7ヶ月の生涯に感動を覚えずにはいられない。通夜のお務めをした住職から、これまで知らなかったヨ子さんの来し方が披露され、その類まれな生命力の源を垣間見た気がした。それにしても、明治・大正・昭和・平成の4時代を力強く生き抜き、多くの人に夢と希望を与えていただいたことに、深甚なる謝意を表すとともに、心からご冥福をお祈りしたい。ところで、今、子ども達に、「生きる力」をどのようにして身に付けさせるかが、学校教育をはじめ、家庭や地域社会に問われている。勿論、進む道によって、求められる、「生きる力」に多少の違いはあるかも知れない。因みに、アメリカ大リーグ「ヤンキース」の松井秀喜選手は、「生きる力とは、成功を続ける力ではなく、どんな苦勞や困難も乗り越えていく力をいう」と語っている。これがすべてではないにしても、かなりの部分を言いついておられると思う。世界一のお手本が、私達の身近にあることを感謝しつつ、町活性化のために、大いに活用させていただきたいと思っている。

浦田 弘二